

## 平成26年度事業計画

### 1. 基本方針

- 日本の経済は、円高とデフレ不況が長引いていたが、アベノミクス効果が実体経済において顕在化してきた。ただ、日本経済の回復という視点では金融緩和・円安状態が長期的に続くことが効果的と考えられており、このことにより賃金が上昇し、安定した景気回復に繋がっていくと言われ、本当の景気回復に繋がることを期待したい。

一方、人口減少や少子高齢化に伴い高年齢者雇用安定法の改正により高齢者雇用確保措置が義務化された効果から65歳まで安定した雇用が担保され、60歳前半の就業率は上昇に転じたが、65歳以降の就業率は就業希望が多いものの低下傾向にある。

このように、少子高齢化が急速に進展し、労働力人口の大幅な減少が見込まれている中、団塊の世代が65歳を超え引退過程に入り、サラリーマン層の多くが地域に活動の場を移しつつあり、高齢者の生きがいづくり、さらに労働力の確保の観点から、働く意欲のある高齢者が活躍できる「場」の受け皿として、シルバー人材センターの果たす役割は、今後ますます重要となってきている。

高齢者が生きがいを持って社会参加することで、「健康維持」や「介護予防」にもつながることが期待され、高齢者の就業ニーズに対応した就業機会の提供ができる社会環境を整えていく必要がある。

日本の長寿化は今後も進展し、100歳を迎えることが可能な人も増えていくものと考えられる。センターは、人生100年を見据え、高齢者自身が蓄積した知識・経験を活かし地域の担い手となり、健康で働く意欲を持ち続けながら生涯を送ることができる「生涯現役社会」の実現を目指し、自治体や他の関係機関と連携・協働しながら新たな就業開拓による就業機会・職域の拡大や会員数の増大など、シルバー人材センターの基盤を拡大する取組を実施する。

### 2. 事業目標

事業目標を次のとおり設定し、計画的に事業を推進する。

- |            |                            |
|------------|----------------------------|
| (1) 会員数    | 370人                       |
| (2) 粗入会率   | 2.3%                       |
| (3) 就業率    | 88.0%                      |
| (4) 就業延べ人数 | 38,900人                    |
| (5) 契約金額   | 174,000千円（独自事業収入3,000円含む。） |

### 3. 事業計画

#### (1) シルバー人材センター事業基盤の拡大

役職員・会員による民間企業、一般家庭、地方公共団体等への受注の働きかけを積極的に行い、新規受注開拓を図り、会員に適した就業機会を確保する。

#### (2) 啓発活動の強化

当センターを理解してもらうためチラシの配布やホームページを活用した情報提供等の啓発活動を強化して、就業機会の確保・拡大につなげていく。

また、会員には毎月発行の「事務局だより」に情報を掲載し、常に全会員が情報を共有できるようにする。

#### (3) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業委員会を定期的を開催し、事故撲滅のための検証を行う。また、委員と職員による就業現場の巡回指導を強化し、会員の自覚と責任を啓発するために安全・適正就業強化月間や「作業前チェックリスト」による事前点検の実施及び安全・適正就業の日を設け、安全就業の徹底を図る。

特に、草刈作業における石飛による事故が頻発したことから、安全・適正就業委員会において事故撲滅対策実施要領を作成し、会員、委員、職員の責務を設け事故ゼロを目指す。

#### (4) 健康管理意識の高揚

市が実施する各種検診を受診するよう働きかけるとともに、親睦会行事の「ゴルフ」や「グランドゴルフ」等サークル活動への積極的参加を推進するなど、自己管理意識の高揚を図る。また、会員がインフルエンザ予防接種を受け易いように当センター内で集団予防接種を実施する。

#### (5) 会員の拡大

健康で働く意欲のある高齢者の入会を促進するために、会員や役職員の口コミによる勧誘活動を積極的に行うとともに、親睦会の活動を通じて啓発・勧誘を実施する。

#### (6) 会員の技術向上と新規技能者の養成

職種転換・新入会員に対し、自主研修や実技研修を行い、技術向上・新規技能者の養成に努める。

(7) シルバーカルチャー教室の開室

会員の専門知識を生かし、楽しく学んで趣味の世界を広げるため、独自事業「シルバーカルチャー教室」を随時開催する。

(8) シニアワークプログラム「就農支援講習」への取り組み

平成22年度から毎年開催している委任事業の「就農支援講習」について、冬野菜作りを他地域で実施することから、今年度は夏野菜作りのみの実習講習に取り組む。

(9) 交通事故防止対策の実施

会員の就業中や就業途上はもとより、日常生活における交通事故を未然に防ぐため、今年度も「高齢者しあわせドライブ」事業への参加や、事故防止のために黄色いウインドブレーカーの着用を推進して、事故防止の意識を高める。

(10) 桐生市シルバー人材センターとの交流

隣接する桐生市シルバー人材センターと積極的な情報交換を行い、交流を深める。  
また、両互助会組織の交流行事を支援していく。

(11) 社会奉仕活動の推進

10月のシルバーの日に、岩宿博物館、阿左美沼、農林業センター、赤城駅、袈裟丸山登山口等の植え込みの手入れや清掃奉仕活動を実施するなど、積極的に社会奉仕活動を行う。